

書道Ⅰ シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
書道Ⅰ	2	1	全	選択	全学科

1 学習の目標

- ・ 小・中学校国語書写の学習を基礎として、表現および鑑賞など書道の幅広い活動を通して書を愛好する心情を育てる。
- ・ 書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。
- ・ 書的美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を育てる。

2 科目の特色

- ・ 文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について表現のねらいをもちながら自己表現を展開していく。

3 評価方法

- ・ 学習活動への参加状況や授業態度（勤怠を含む）
- ・ 学習記録（実技・鑑賞）
- ・ 試書等の記録
- ・ 制作シート
- ・ 提出作品
- ・ 学習のまとめ

4 使用教科書

- ・ 教育図書：書1 「書1010」

5 授業の展開と形態

- ・ 商業科、会計科、情報処理科、国際経済科等、クラスの状況、能力等を勘案し、指導法を工夫する。

6 学習方法

- ・ 年度始めに1年間の学習内容を説明し、概要を把握させる。
- ・ 毎時の課題にきちんと取り組めるよう配慮する。

月	単 元	学 習 内 容	配当	留意点
4	書へのいざない	・中学校までの学習を振り返り、書写と書道の共通性と相違を理解する。	6	学習目標は書美の探求であることを意識させる。
5	漢字の書の学習	・1年間の学習内容を知り、古典の様々な書之美、書の分野とその学習意義について理解する。	6	
6	楷書の学習	・書道教室内のルール等理解する。	8	
7		・楷書の特徴を理解し多様な書風があることを理解する。 ・古典の鑑賞と臨書。 ・初唐の三大家の古典・筆者に関する知識を深める。作風の違いを理解する。 ・学習した古典の半切条幅の臨書作品。	4	
9	行書の学習	・行書の特徴、行書の用筆、運筆。	8	臨書を通じて行書の用筆法を理解させる。
10	創作制作 漢字一字書	・字形の取り方。 ・古典の鑑賞と臨書。 ・学習した古典の半切条幅の臨書作品。	8	
11	漢字仮名交じり カレンダー作り	・創作手順。 ・墨量、墨色の工夫。 ・文字構成の工夫。 ・表現の工夫。	8	
12	年賀状	・楷書、行書の古典の特徴を活かした表現をする。 ・季節感を表現する。	4	
1	書き初め	・これまで学習した古典の半切条幅作品を臨書する。	6	漢字の書のそう復習であることを意識させる。仮名文字の美しさや、手書きの良さを感じさせる。
2	仮名	・仮名の成立。仮名の種類。仮名の基本的な用筆・運筆。いろは歌。	8	
3	生活の中の書 まとめ	・自分の名前、のし袋の書き方。 ・日常生活における手書き文字の良さや美しさを感じ取ろうとする。	4	